



### 現役、今年も元気!!

運動部OBクラブの原点は、やはり現役が強いということです。今年の学生たちは若手OBコーチ陣の情熱あふれる指導にこたえて、木当り元気です。

今年のシーズンは、先づ六大学戦に優勝、関東インカレに470級で優勝、総合2位。早慶戦は例によって、もめにもめて残念乍ら惜敗しましたが、とに角元気です。全日本インカレを目指して、三戸浜は熱気あふれる毎日です。

本年度のコーチング・スタッフは、  
(監督) 加藤 (助監督) 大原(義)、風間  
(総務) 中島 (招待コーチ) 小松  
(ヘッドコーチ) 渡辺亨  
(470コーチ) 地曳、黒田、鎌田、佐々木、小山、梅原  
(スナイプコーチ) 小池、小野、市井、板東、瀬川、和田の諸氏です。



早慶戦、一日目は雨だったが二日目は快晴(於三戸浜)

### 六大学ヨットレース優勝!!

第21回・東京六大学ヨット選手権大会は、4月12日～13日葉山で絶好のコンディションの下に開催された。スナイプ級の宮沢・羽田組が圧倒的な強さを発揮して立役者になった。

470級は、秋の新人インカレで優勝していたが、今回のレースは振わず第4位。部員とコーチ陣ともども、大いに反省。学生スポーツでの慢心が如何にこわいかを痛感させられた。

(470級)

- ①明治 ②慶応 ③東大 ④早稲田

(スナイプ級)

- ①早稲田 ②慶応 ③東大

(総合)

- ①早稲田 ②慶応 ③東大 ④明治 ⑤法政
- ⑥立教

### 関東インカレ470制覇!!

——総合2位——

第53回関東インカレは参加52校で開催された。61年5月3日から5日のゴールデンウィークのレース。

(470級)

- ①早稲田 ②中央 ③慶応

(スナイプ)

- ①日大 ②早稲田 ③明治

(総合)

- ①日大 ②早稲田 ③中央 ④明治 ⑤慶応
- ⑥関東学院

52校が3ブロックに分かれて、予選上位6校が決勝。六大学レースの不振から立直りを見せていた470陣は、予選第1レースで第1上のマークで、1、2、3位と、これ以上は望めない成績で回航しながら、つまらないミスから全艇が沈。誠に珍しいケースとなってしまった。この失敗が最後までこたえて悪戦苦闘。しかし、最終レースでは3、4、5位でフィニッシュして辛うじて予選を通過した。

決勝では、斎藤主将の素晴らしいキャプテンシーのもと小宮、神沢組、松下・石井組、鈴木・久保田組が快調なすべりをみせ、日大、中大を圧倒、優勝を手中におさめた。

スナイプは日大の強さばかりが目についたレースであったが、宮沢・羽田組の闘志あふれるレース展開に470から転向した新里・川原組そして岩田・国近組が堂々第2位に入賞した。昨秋、決勝にも残れなかった巧名をすっきりと晴らした形。

これも地曳コーチ以下若手OB諸兄が、積極的に声をかけあい、クリスマスから正月にかけて冬合宿を現役共々行ってくれた成果と感謝する。

OBと若い部員、試合に出られなかった者も含め全部員の総合力で勝ちとった成果だと思ふ——と加藤監督の談である。

全日本インカレは、8月4日から九州・博多小戸にて開催される。

### 有望新人・入部

所沢キャンパスの人間社会科学部設立に関連して、スポーツ選手の推薦入学枠が出来た。61年度スポーツ特別選抜学生は全部で32名。この内ヨット部には1名の入学が決った。FJインターハイの優勝者である。今後も継続的に入学させたいので、OB各位に有望選手の推薦をお願いします。

今年は他に将来有望な大型新人が入部しており、部全体に活気がみなぎっている。

### 大成建設・プレハブハウス 合宿所に2棟。

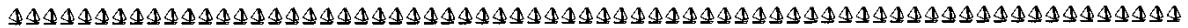
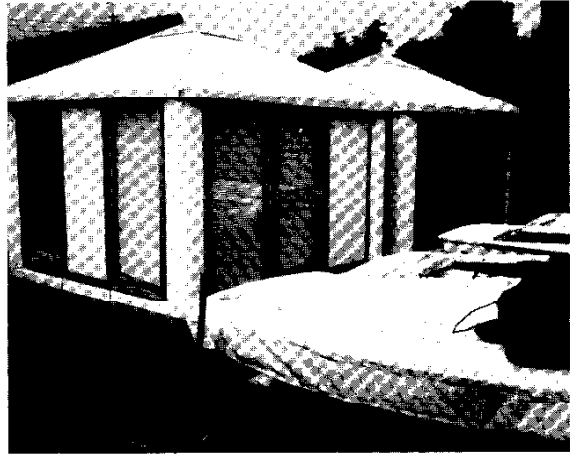
石井先輩のお世話で大成建設株式会社より、3坪のプレハブ・ハウス2棟が寄贈されました。三戸浜小島合宿所の奥に並んでいます。

ご好意いただいた関係者の皆さんを5月10日ご招待して、稲竜でセーリングいたしました。石井OB、杉山OB、安藤OB、その他若いOBも参加しました。

また、このハウスの窓のブラインドを次のOBが寄附されました。

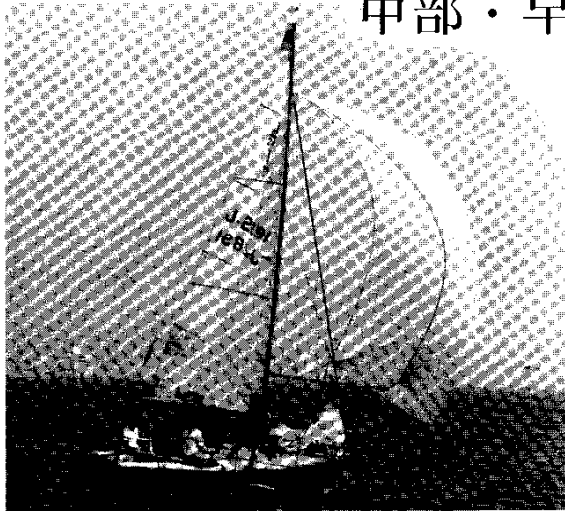
加藤総監督、野本君、入江君、瀬戸君、芦沢君、即ち最も若いOB諸君です。

OB諸兄の三戸浜訪問を切望いたします。



## 潮気のきいた ウィスキー 中部・早稲田ヨットの集い

大島 徳次郎 (51年卒)



J24・ロブスターⅠ

中部地区(愛知・岐阜・三重)には、17名のOBがおります。年数回の集まりをもっています。元来この水域ではマールンセーリング・クラブとして、早稲田ヨットOBが伝統的に活発にやっていることは皆さんご承知の通りです。

6年前から私が連絡係で運営しています。私が招集をかけた最初の会合には池口(18・故人)、中村(26)、木本(27)、村瀬(28)、岡村(34)、大河内(34)、稲垣(39)、山内(44)、長谷川(44)、樋口(48)、近岡(50)、大島(51)合計12名が集まりました。

しかしOB同志とはいえ、初対面の方が多くヨット部の集まりとは思えぬ程紳士的で上品な夜でありました。今が下品というわけではありませんが……。

その後、池口さんが他界され、岡村さんはじめ転出者が相次ぎましたが、代りに米田秀久さん(29)、喜多内君(55)、渡辺君(58)、黒田君(59)が来られて、人数的にはほぼ同じ陣容です。

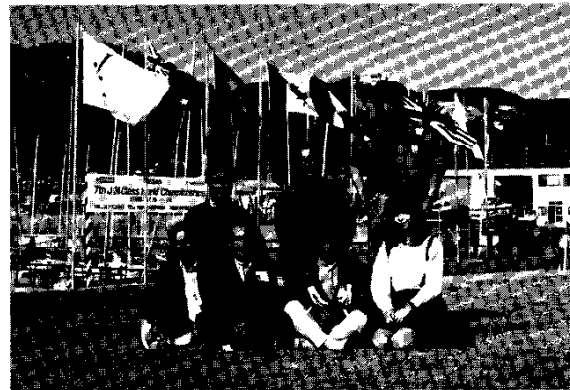
本年5月29日、喜多内夫人を含む10人が集まりました。(中部では女性はゲストとして喜んでお迎えして無料で

す)。全員愉快的な時を過ぎ記念撮影をしたのですが、何故かうつつていなくてご披露できないのが残念です。2回もチーズをやったのです。

最近の盛り上りは素晴らしいものがあります。村瀬さんが、山内さん、喜多内君と共にJ24・ロブスターⅡでレースに積極的に参加されています。昨今はぐっと潮気のきいたウィスキーをのんでおります。「艇をもたないヨットクラブは無実であり、先週の風が話題になるヨットクラブは明快である」のです。

話す程、飲む程に、全員が元気になります。握力大会が始ったり、多少酔ったいきおいで喜多内君の若き奥さんにさわったり、浮れ騒ぎ楽しいお酒になっております。

この元気を全員海で発揮すべく、「中部・早稲田ヨットマン夏の集い」を今年は企画しております。三戸浜で行われる集いとは、人数的にちがいますので、まあなんといいですか、近所の町内旅行といったイメージで楽しく遊べれば良いなあ……と思っています。うまくできましたら、ご報告さし上げたいと思います。こちらへいらっしゃる方、是非ご連絡下さい。



第7回J24・世界選手権、ロブスターチーム。  
前列左から山内(44)、村瀬(28)、小林(蒲高OB)、喜多内夫人、  
後列右側の坂爪(55)、喜多内(55)、小池(57)

# 早稲田ヨットマン 全員集合 5分前!! 夏のつどい'86

来る7月20日、三戸浜の小島合宿所にて夏のつどい'86を賑やかに催します。ご家族・友人おさそい合わせの上多数ご参加下さい。

**村瀬杯争奪OBレース**  
**クルーザー・ランデブー**  
バベキュ・パティ

が予定されております。楽しい夏の一日をすごしましょう。クルーザー・ランデブーは、稲竜、レスキュー紺碧、月光Ⅴ、月光Ⅲ、ダボハゼ、ドーリー……………という豪華版です。レースには、名古屋の村瀬さんがカップを寄贈され、優勝者に自ら手渡しに来られます。朝早く起きて下さい。京浜急行終点、三崎口に8時半。

学生さんがお迎えに出ています。勿論、タクシーもいます。

どうしても前夜祭をやろうという皆さんもいます。19日(山)サーフ・サイド(合宿所となり)に夕方6時から集ってきます。実行委員は、並木(34)、土肥(36)、木村(38)、大(40)です。

会費は20日の分、OBは5,000円OB以外は3,000円です。前夜祭は受益者負担です。

この会は若くして逝った帆友の慰霊の趣旨の発展したものですので、献花をいたします。

(合宿TEL) 0468-88-0262



## ——第3木曜日の理事会に

ご参加 お待ちしています——

私たちの育った早稲田ヨット部は、今年も元気です。皆様方OB諸兄の物心両面にわたるご支援のおかげです。他校ヨット部OBも、早稲田の他の運動部OB諸君もうらやましがる位、私たちのクラブは活発です。月一回、第3木曜日永楽クラブの理事会は、一度も休むことなく続けられています。最近では平均15人位の参加があります。(当日参加者は2千円～3千円の会費です)

今年度後半のテーマは「学生ヨットを金のかからない様にする為の提言」を、という方向にあります。他校にもその動きがでてきました。

是非、あなたのヨットへの想い、ヨット部への情熱を吐露して下さい。

理事であってもなくても参加できるのが当クラブの理事会であります。



ワッセ、ワッセ、重てえなあ。皆さん覚えがありますね。

## 赴 報

### ●小澤忠次郎氏 (昭8年卒)

61年2月末、逝去。同氏は会長小澤信三郎氏の兄。小澤兄弟の中でもヨットに一番早く手をつけたという説もある。学生時代、勿論昭和の初めにオートバイをぶっとばしたというユニークな存在。発明・特許に特に熱を入れた人であった。最近でもオートバイに尚興味をもっておられたオールド・ボーソー族である。ヨットについても理論家で、学生たちを悩ますこと屢々であった。青春の気概を一生持ち続けた男、こういう表現が当たっているのだろうか。

吾がクラブOB諸兄が多数参集、都の西北と回航の歌でお送りした。

### ●伊藤 昭氏 (昭31年)

61年3月9日 急逝。

高校時代は、逗子開成高校で既にヨットの腕を上げていた。インターハイで杉山・武村・中田らの早高勢をなやます。

大学では昭和30年の全日本インカレの立役者、杉山主将とのコンビは横浜で名物だった。

夏の合宿(館山)で作った「ボクは早稲田のヨットマン」の作詩の中心人物。さらに珍歌「キンチャンの七不思議」を紹介し遂に、ニックネーム「キンチャン」となる。

早風をこよなく愛した。昭和37年7月の鳥羽パール・レールに参加。

その3ヶ月後初島レースで早風が遭難。そのレースに乗ってやれなかったのが心の傷となり以後プツリとヨットに近づかなくなった。今、あの24年前の仲間と、相模湾で再会しているであろう。

杉山現理事長はこの赴報を聞き、「バカヤロー、(クラブの集まりに)出て来ないから死んぢやうんだ」と絶叫した。

早稲田ヨット部OBと、逗子開成ヨット部OBが、心から悲しんでお別れした。

(文責・米田)

—スケジュール—

- 全日本インター・カレッジ。博多小戸  
8月4日 開会式。5日 個選  
8月7日より9日、レース  
(九州在住のOB諸兄姉にお世話になります。)  
(よろしく願います。)
- 体育実技講習会  
8月25日より9月6日まで。例年の如く岩井にて開催。学生数は60名、2回、合計120名。  
横田講師を応援して、OB諸兄の参加をお待ちします。先輩諸兄の経験談・人生観を一般の学生諸君に聞かせてやって下さい。廻航の応援も願います。伝統継承の為、最も有効な機会です。若手OBの積極的参加を要望します。
- 四大学OB戦  
9月27日(土)前夜祭、28日(日)レース、佐島マリナーに於て行います。当番は慶応。
- 秋の集い'86  
11月15日(日) 場所未定
- 同志社戦 6月14、15日 琵琶湖  
今年はインカレ費用も大変なので、省略しようかという動きもあったが、同志社側より是非やりたいと要望あり。更に同志社合宿所使用もOKとの実に友情あふれる申し出であり実現した。学生21名遠征。クラブとして15万円の援助を行うことにした。(5.15理事会)  
近年の早稲田・同志社の友好関係は大変もり上りOB同志の交流も盛んである。レース詳報後日。
- 新しい名簿が出来ました。前の名簿は58年でした。3年でこんな位移動が甚しいのにお気付きと思います。吾クラブは、ニューヨークにも支部が出来そうな気配です。

編集だより

正直のところ、現理事会メンバーが、一寸疲れ気味で会報発行、集金ワークが遅れ気味でありました。仕事の関係、出張とか、転勤もありました。しかし、それは言い訳です。おわびします。

「第3木曜日 永楽クラブ」という原則がきちんと実行されて その都度 議題も豊かですので クラブの運営自体が 対現役 対大学に支障をきたしてはおりません。

クラブのニュー・リーダー達も 仲々活発でありまして 現執行部を適度につきあげてくれております。

理事会で 会報名を「航跡」にすることを 決定され今回から冠をその様にいたしました。しかし 号数は前号を継承させていただきます。「航跡」という名称は戦前から現役やOBが 部報を出す際に使用した名称です。50年史も、自然に「50年の航跡」となったのでした。この誌名に なつかしきを感じて下さる方が多いことと存じます。

「吾が 航跡を進め」中塚先輩が50年史の巻頭に掲げられた如く、永遠に続く後輩たちの方向を、吾々OBが、

—お願い。年会費とご寄附を—

私たちのクラブ活動を支えているのは、やはり健全な財政です。

年会費 1万円。そして、出来ますなら1万円以上のご寄附を期待しております。支出は、理事会での激しい議論を経てから実行されています。

振込先：第一勧業銀行 日本橋支店  
(普)038-1445739  
早稲田ヨットクラブ 杉山博保

あなたのご理解、ご支援を心から期待しております。

—学生の奉賀帳—

今年の全日本インカレは、九州博多です。言うのは簡単ですが、艇の運賃はじめ遠征費が大変。学生たちは自ら、アルバイトもしていますし、それなりの金策はしています。そして、やむなく本年も奉賀帳をもって、皆様にご寄附をおおぎに参ることを理事会として認めました。事情ご諒察の上、ご支援お願いします。

—WK記念品—

帽子(2ケ1組)、ネクタイ(2本1組)それぞれ 1組 1万円。  
ご希望の方は、各年度理事を通じて申しこまれたし。



加藤監督を囲み、元気はソラン学生諸君(於、琵琶湖)

わいわい言い乍ら示しているわけです。

お互いに、心豊かな 実のある人生を送る為に 楽しいクラブにしたいという想いが こもっております。

それに伴って、スタイルも一新、横書としました。集めたら部史になる様に。

私事ですが 編集子 大阪から東京に転勤、一年の単身生活後 最近 家族もやっと回収おわかりました。

出来る丈 海にも行って、風を話題にする様にいたします。

尚、次号は 九州のOB諸兄の活動を紹介いたします。  
(米田)